

魚沼地域版

魚沼市のみなさんへ



せせらぎ

～清流のきらめく魚沼地域～

【配布市町村】魚沼市

【地域版の問い合わせ先】魚沼地域振興局企画振興部 〒946-0004 魚沼市大塚新田91-4

☎025(792)1303 FAX025(792)6029 【E-mail】ngt111510@pref.niigata.lg.jp

【URL】http://www.pref.niigata.jp/chiikishinko/uonuma/

魚沼地域振興局の夜間休日緊急ダイヤル ☎025(792)1311 ※事故・災害などの緊急時にご連絡ください。

犬を触る前に手を鼻に近づけて「はじめまして。ぼくの匂いを覚えてね」

考えてみてください 犬との正しい付き合い方

～魚沼動物保護管理センターの業務から～

あなたの身近に動物(ペット)はいますか。動物を見ることで、触れることで癒されると感じる人は多いのではないのでしょうか。“ペット”から“家族の一員”へ、動物の果たす役割も変わってきています。動物の正しい飼い方(接し方)を知り、より良い関係を築きたいものです。

今回は魚沼動物保護管理センターの業務のうち、ペットの中でも特に身近な「犬」に関することをご紹介します。



魚沼動物保護管理センターは、魚沼市、小千谷市、南魚沼市、十日町市などを管内として、犬・ねこの保護、住民からの苦情対応、動物愛護法に基づく啓発活動など、動物(ペット)に関する仕事を行っています。

家庭犬のしつけ教室

犬を飼うために必要な知識と、「吠え癖」や「咬み付き」など問題行動を防ぐ目的でしつけ教室を行っています。



「ふせ」の訓練。ほかに「アイコンタクト」なども学びます。

動物病院と訓練士の先生による講義と実技指導で、わずか3日間ですが、最終日には飼い主さん達のしつけ方は驚くほど上達しています。

動物保護管理センターからのお願い ①

犬の登録と予防注射は必ず!

●年間5万人の命を奪う狂犬病
狂犬病は人間にも感染し、発症すると100%死亡する恐ろしい病気です。世界では毎年5万人以上の方が狂犬病で亡くなっています。日本で狂犬病は50年ほど発生していませんが、昨年は海外で犬に咬まれた日本人2人が亡くなっています。

●登録・予防注射をしない犬が増加
狂犬病を予防するには、予防注射しかありません。登録と予防注射は飼い主の義務。日本で狂犬病が発生してからでは遅いのです。

動物ふれあい教室

動物のぬくもりを感じて命を大切に育てる心を育てる目的で、保育所や幼稚園で犬やねこのふれあい教室を行っています。



普段聞くことのない犬の心臓の音。犬も人間も一緒だね。

また、犬に咬まれないために正しい触り方も教えています。「放れている犬に会ったら、走らないで電信柱みたいになって動かないでね」「触るときは手をグーにして鼻に近づけて。犬の警戒

心がほぐれるよ」など、紙芝居を使って子ども達にもわかりやすく説明します。



「犬に触るときにはどうするの?」子ども達もじっくり聞いています。

動物保護管理センターからのお願い ②

犬に咬まれないために!

●触るときには必ず飼い主に声を
犬による咬傷事故は、放されている犬に咬まれた場合より、つながれている犬に子どもが近づいて咬まれた場合のほうが多数です。犬に触るときは必ず飼い主に聞いてから。正しい接し方を覚えましょう。

迷い犬などの保護

当センターでは毎年60～70頭の犬を保護していますが、飼い主の元へ帰れるのは半分ほどです。

動物保護管理センターからのお願い ③

飼い犬には鑑札と注射済票を!

●大切な飼い犬を迷子にしないで
鑑札と注射済票は迷子札にもなります。忘れずに付けてください。

保護している犬、新しい飼い主を探している犬やねこの情報は、下記ホームページにも掲載しています。

魚沼地域振興局健康福祉部
魚沼動物保護管理センター
☎025(792)8621 FAX 025(792)6381
【URL】http://www.pref.niigata.jp/chiikishinko/uonuma/kenkou/

トピックス 中学生が熱く語る!! “わたしの主張” 地区大会を開催します

小千谷・川口・魚沼地区で例年2,000人を超える中学生の中から各中学校の代表12人が集まり、身近な話題から地球規模の問題まで、日ごろ考えていることを発表する「わたしの主張」の地区大会が今年も開催されます。ふだん触れることが少ない中学生の意見や考え方など、この機会に聴いてみてはいかがでしょうか。お気軽にご来場ください。



昨年の各校代表者の皆さん

この機会に聴いてみてはいかがでしょうか。お気軽にご来場ください。

日時 8月23日(木)
13:00～15:30
会場 小千谷市民会館

問 魚沼地域振興局
健康福祉部地域福祉課
☎025(792)8606

「いつてみたい魚沼」の郷づくりに向けて

魚沼地域振興局
局長 権平 哲三

昨年の豪雪から一変して、今年は記録的な暖冬少雪になり、例年より早く、魚沼三山の緑も夏景色となりました。魚沼地域振興局は地域機関の再編による振興局体制になって、4年目を迎えております。この間には、あの痛ましい中越大地震や豪雨災害などがありました。震災関係では職員一体となって取り組み、河川、道路、農地、農業用施設の復旧はほぼ完了し、今後は「復旧から復興」として被災者の営農再建や健康支援対策を昨年に引き続き進めていくこととしております。また、この災害からの復興のために農業や地場産業への支援はもちろんですが、観光を含めた交流人口の増加を進めるこ

ととしております。

この魚沼地域には山や川、四季が織りなす美しい自然環境があります。ここに訪れる観光客の過半数は関東地方を中心とした県外客と言われております。地域振興局としても、「いつてみたい魚沼」の郷づくりを目指して、魚沼の四季の魅力や魚沼から行く尾瀬、伝統文化の振興などの情報発信を関係団体と連携を図り、促進していきたいと考えています。

